

環境調査結果のお知らせ

平成26年2月18日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温15~16℃、塩分33~34、溶存酸素量7~8mg/lでした。
透明度は6~8mで、有害種コクロディニウム・ポリクリコイデスが少数確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は15.1~16.1℃、塩分は33.5~33.8で、前回調査時(H26.1.14)と同程度でした。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は7.2~8.2mg/lで、前回と同程度でした。

プランクトン(表4・5)

透明度は5.8~7.8mでした。

検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高1cell/ml確認されました。今後の動向に注意が必要です。その他、有害種のディクチオカ・スペキュルムが最高2cells/ml、ミリオネクタ・ルブラが最高4cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲む等して、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

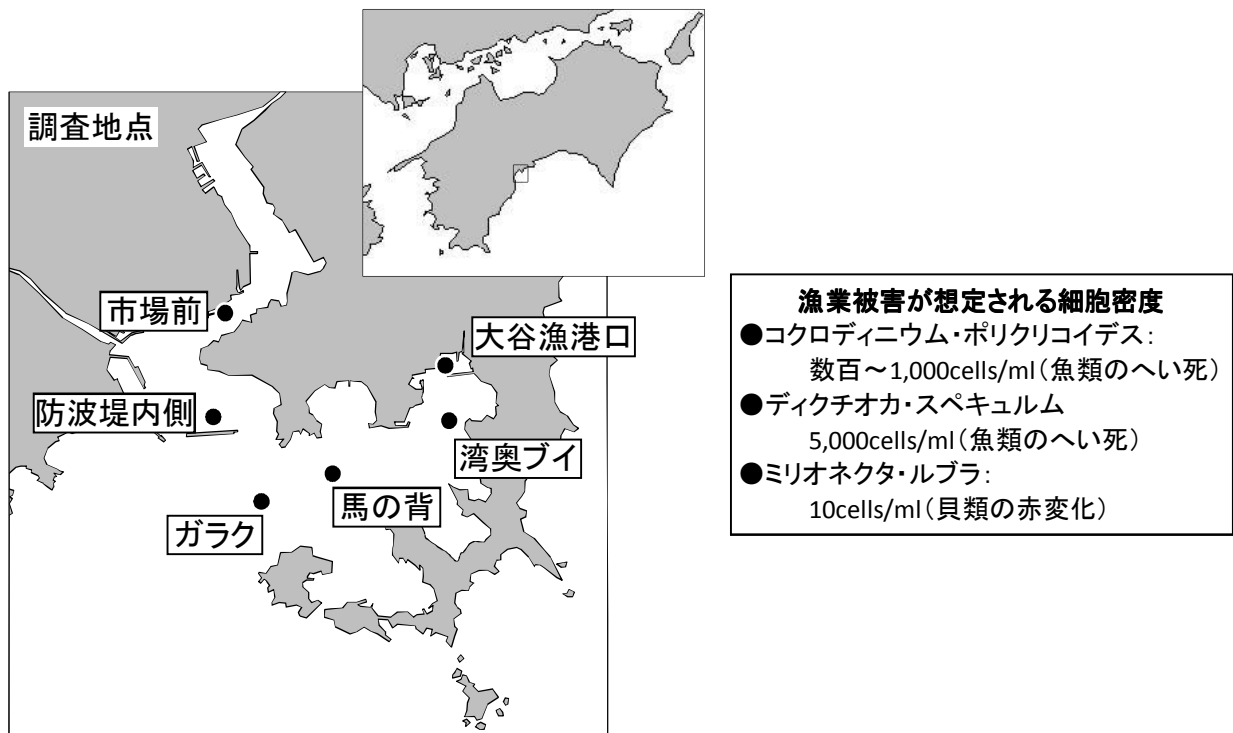


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H26.1.14)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	15.4	15.8	16.0	15.1	15.7	15.8	▲ 0.1	14.6
2m	15.4	15.8	16.1	15.1	15.8	15.8	▲ 0.1	14.7
5m	15.4	15.8	16.1	15.3	15.7	15.8	▲ 0.1	15.3
10m	15.4	15.8	16.1	15.6	15.7	15.8	▲ 0.1	-
B-1m	15.3	15.7	16.0	15.7	15.7	15.7	▲ 0.0	15.7

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H26.1.14)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	33.7	33.8	33.8	33.5	33.8	33.7	0.0	33.1
2m	33.8	33.8	33.8	33.5	33.8	33.7	0.1	33.1
5m	33.8	33.8	33.8	33.6	33.8	33.8	0.1	33.5
10m	33.8	33.8	33.8	33.7	33.8	33.8	0.1	-
B-1m	33.8	33.8	33.8	33.7	33.8	33.8	0.0	33.7

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H26.1.14)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.9	7.5	7.6	8.2	7.7	7.9	▲ 0.3	8.1
2m	7.7	7.5	7.5	8.0	7.5	7.8	▲ 0.3	8.0
5m	7.6	7.4	7.4	7.9	7.5	7.7	▲ 0.3	7.9
10m	7.5	7.4	7.3	7.8	7.4	7.7	▲ 0.3	-
B-1m	7.4	7.3	7.2	7.4	7.3	7.6	▲ 0.3	7.6

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.2	25.4	15.3	15.0	11.0
透明度	5.8	6.5	7.8	6.1	4.8
前回透明度	4.9	8.0	12.5	7.5	5.2

表5 プランクトン(cells/ml)

		コクロディニウム・ポリクリコイデス	ディクテオカ・スペキュラム	ミリオネクターブルラ	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属(ドミナンス、スピラレ)	プロトベリディニウム属	ケイ藻類
大谷漁港口	0m	0	0	0	0	0	0	0
	2m	0	0	4	0	1	0	3
	5m	0	0	0	1	0	2	1
湾奥ブイ	0m	0	0	0	1	1	0	13
	2m	1	0	0	0	1	1	2
	5m	0	1	0	0	0	0	48
馬の背	0m	0	0	1	0	3	0	49
	2m	0	0	1	0	0	0	40
	5m	0	0	0	0	1	0	8
ガラク	0m	0	0	4	0	0	0	0
	2m	0	0	2	0	2	0	2
	5m	0	0	1	0	1	0	29
津波防波堤内側	0m	0	0	0	0	0	0	108
	2m	0	0	0	0	0	0	46
	5m	0	1	0	0	1	0	90
市場前	0m	0	1	0	0	1	1	12
	2m	0	2	0	0	0	0	103
	5m	0	0	0	0	0	0	33